

自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース
(保健体育) / 南 隆尚

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

平成23年度に内地研究で筑波大学にて研修に励んだ。その中で泳法の多角的な分析を進めている。研究半ばで復職したが、今後研究を進める上で、科研費取得は必要である。特に私の研究対象とする立ち泳ぎは、上級者のみが修得できる泳法として、これまで分析が進められていないが、自然水域や水上活動での救助には欠かせないものである。研究を進め、教育・競技の両面で活用できるような成果を得たい。また水泳教育での地域連携や野外教育における臨床的アプローチも共同研究者とともに申請を検討している。

2. 点検・評価

泳法の多角的分析については、内地研修で指示いただいた筑波大学高木先生が、イギリスに在外研修にでられ、滞っている。水泳教育に関する研究・調査に関しては、松井教員の取りまとめのもと順調に進んでいたが、科研費には受託されなかった。その他の研究については、協力者とともに研究を進めている。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

研究会や勉強会でのPRを進めるとともに、スポーツの競技会などでも積極的に現役学生に声をかけていきたい。特に私の関わる水球競技は教育系大学のチームは少なく将来教職を希望する学生には新たな進路としてPR出来るものとする。

2. 点検・評価

研究会や勉強会でのPRを進めるとともに、スポーツの競技会などでも積極的に現役学生に声をかけた。特に私の関わる水球競技のある大学に大学案内や大学院入学試験案内・願書などを送付した。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- 講義においては小テストを実施し、基礎的な学力を習得できるよう授業方法を工夫する。授業評価を参考に、今年度から資料の配布を減らし、ノートに筆記するよう指導する。
- 発言・討論の場面を設け、自己肯定力と同時にコミュニケーション能力の育成を狙う。また授業への積極的な参加を促し、教師としてのプレゼン能力の向上を図る。
- 実習においては、野外での活動を伴うことが多く、事前のオリエンテーションを充実したものにし、安全かつ自律的に参加できるよう工夫する。実技に関して「リスクマネジメント」の観点も設け、教員としての危機意識を高める。
- 研究に関するゼミ活動の他、指導教員に関わらず学生に時事の諸問題を取り上げ発表してもらう時間を共同で設けている。学生の言語能力に役立つため今後も継続して実施する。
- 実技指導において、教員採用試験対策をはじめ、積極的に指導機会を設ける。

2. 点検・評価

- 講義においては小テストを実施し、基礎的な学力を習得できるよう授業方法を工夫し、今年度から資料の配布を減らし、ノートに筆記するよう指導した。
- 発言・討論の場面を設け、自己肯定力と同時にコミュニケーション能力の育成を狙った。
- 実習においては、安全かつ自立的に参加できるよう工夫し、「リスクマネジメント」の観点も設け、教員としての危機意識を高めることに意識した。結果野外教育を専攻したいという学生も現れた。
- 研究に関するゼミ活動の他、指導教員に関わらず学生に時事の諸問題を取り上げ発表してもらう時間を共同で設けている。教員就職率が向上している。
- 実技指導において、教員採用試験対策をはじめ、積極的に指導機会を設けている。

II-2. 研究

1. 目標・計画

昨年度、多くの学校で水泳教育の問題点を抽出する結果を得た。今年度は震災の影響を鑑み、水泳教育の実状を把握すべく山形・福島・茨城での調査を計画。新指導要領実施と学校水泳の問題点について、引き続き調査・研究を進めたい。また内地研修の課題である水泳巻き足の推力測定については圧力センサーや牽引測定器など未だ解決できない問題が多いが実験を繰り返し成果を得たい。ジュニア期における柔軟性とコーディネーションのトレーニング法については、これまでサッカーを中心に進めてきたが、他競技にも広げ、新たなトレーニングの方法論として定着を進めたい。野外教育については臨時的なアプローチを行う活動に参加し、新たな教育・研究方法を修得すべく研修を進めた。今年度は大学周辺・徳島県下の自然を利用したプログラムの開発を進める。

2. 点検・評価

- 新指導要領実施と学校水泳の問題点について大学生の履修状況や修学適性検査の観点から研究を進めている。
- 水泳巻き足の推力測定については圧力センサーや牽引測定器など未だ解決できない問題が多い。
- ジュニア期における柔軟性とコーディネーションのトレーニング法については、新たなトレーニングの方法論として開発を進めている。サッカークラブチームで活用を希望するチームが出てきた。
- 野外教育については臨時的なアプローチを行う活動に参加し、新たな教育・研究方法を修得すべく研修を進めた。今年度は大学周辺・徳島県下の自然を利用したプログラムの開発を進めることができた。
- 今年度は震災の影響を鑑み、水泳教育の実状を把握すべく山形・福島・茨城での調査を計画したが、現地との関係作りが滞り、調査に至っていない。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- 各種与えられた専門委員を務める。教育大学として先駆的な取り組みに寄与する。
- 課外活動など学生との交流を持つことにより、学生の立場での意見を大学運営に活かす。
- 野外活動施設の整備ならびに維持管理を積極的に行う。
- 大学の将来像に寄与しうる発信を心がける。

2. 点検・評価

- 学内プロジェクトも活用し、野外活動施設の整備ならびに維持管理を積極的に行っている。
- モデルカリキュラムの発展的研究に助力することとなった。
- 課外活動など学生との交流を持つことにより、学生の立場での意見を大学運営に活かしている。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- 附属幼稚園のペアレンツセミナー等に協力する。
- 民間スイミング設立や学校プールの老朽化に伴う、学校水泳の崩壊が始まっている。教員間・学校間・官民間の協働関係のマネジメントを考慮した活動を行う。
- スポーツ振興について、日本水泳連盟、徳島県体育協会の活動に協力する。
- 救急法などの安全教育に関わり、徳島県教育委員会、日本赤十字の活動に協力する。

2. 点検・評価

- 附属幼稚園のペアレンツセミナーが今年度実施されなかったこともあり、交流が滞った。
- スポーツ振興について、日本水泳連盟、徳島県体育協会の活動に協力している。
- 救急法などの安全教育に関わり、徳島県教育委員会、日本赤十字の活動に協力している。
- 教育委員会主催のスポーツ指導者養成講座講師を務めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)